

環境教育 体験活動

平成 15 年 5 月 23 日 (金) 実施

講座コード 230

アラカルトコード 01011

第 1 回報告

身近な自然に気付き！親しむ！
環境教育「春夏秋冬」体験活動
(講座コード 230) の 1 回目の
講座が 5 月 23 日 (金) にぐんま
昆虫の森 (勢多郡新里村大字鶴ヶ
谷) で行われました。講座参加者
は 15 名 (校種：小学校 9 名、中
学校 2 名、高等学校 1 名、特殊教
育諸学校 2 名、センター長期研修
員 1 名) でした。

開講式での植木産業科学グルー
プリーダー (以下 G L) あいさつ、
諸連絡の後、午前中は「簡単に誰
でもできる！春 (初夏) の身近な
自然観察と調査」が行われました。
植物領域を須永 智指導主事 (ぐ
んま昆虫の森建設室)、昆虫領域
を筒井 学主任 (同) に講師をお
願いし、領域ごとに研修しました。
写真は、開講式および午前中の講
座の様子です。



開講式

左から一人おいて
植木 G L、筒井主任、須永指導主事

午後は、担当指導主事川島より、
はじめにネイチャーゲームについ
て講義を行いました。その後渋川
市立北小学校鈴木幸枝教諭、渋川
市立南小学校狩野正樹教諭を講師
に体験活動「自然体験活動とネイ
チャーゲームの活用」を行いまし
た。当日実施したアクティビティ
は、右の通りです。

<< 当日のアクティビティ >>

- 私はだれでしょう
- フィールドビンゴ
- カモフラージュ
- 木の鼓動
- 目かくしイモ虫
- 目かくしトレイル

ネイチャーゲームに取り組む様
子と受講者の感想は裏面の通りで
す。



講座 (午前中)

上：コナラ・クヌギの萌芽茎数調査
下：採取した昆虫の観察

ネイチャーゲームの様子と受講者の声



上：フィールドビンゴ
グループで、いろいろなものを見つける。
中央：目かくしイモ虫
目かくししながら一塊になって移動する。
下：目かくしトレイル
目かくししながら一本のヒモを頼りに歩く。



上：カモフラージュ
自然物の中に隠された人工物を見つける。



下：目かくしトレイルの後、
目かくしを外して自分が歩いてきた経路を再び歩いて振り返る。



- 自然体験。大切なことをいままで忘れていたような気がしました。植物、昆虫、ネイチャーゲーム。それぞれに興味をもつきっかけになりました。
- 午前中の植物と昆虫とのかかわりを調べた自然観察。午後の自然へのアプローチとしての体験ゲーム。とても勉強になりました。春夏秋冬、一年間の変化が今からとても楽しみです。
- 体験活動を実際にやりながら、活動の意味や感触が実感できて良かった。
- 勤務校は昨年よりチャレンジスクールを行っており、プログラムにネイチャーゲームを取り入れているので、今日教えていただいた活動をいかしていけたらと思います。「見方」(観察の仕方)の間接的な(直接的でもありますが)指導法を学べました。夏の講義では昆虫の森がどのように

- 変化しているか楽しみです。
- 植物の見方を聞き、帰って学校で確かめたくになりました。昆虫、植物を触ったり、臭いをかいたり、見たりして自然に十分ひたることができました。ネイチャーゲームは子どもにもどったように楽しめました。大人数だと森はあらされないのかな?と心配になりました。環境についてより意識を深められました。博識な先生達のおかげで、興味を持つことができました。ありがとうございました。カブトムシの幼虫の落ち葉のたい肥の作り方を教えて下さい。
- 午前中は久しぶりに子どもの時のワクワクした気持ちにもどることができました。午後のネイチャーゲームでは五感で自然を感じ、六番目の心が豊かになったように思います。